

患者さんに信頼される医師を目指して

高い英語力を武器に医師として、人間としてのスキルアップに挑む

東京・渋谷にある英語専門塾「平岡塾」は、受験英語ではなく、「本物の英語」「実際の社会で通用する英語」が身につく塾として社会の高い評価を得ている。今春、東京大学理科三類に進学した福島さんに、平岡英語塾の魅力聞いた。

反復学習を通して

徹底的に文法を身につける

——平岡塾に通うようになったきっかけを教えてください。

ました。

——最初の印象は？

福島 まず座卓で学ぶことが新鮮でしたね。机の上には飲み物や軽食が置かれ、リラックスした雰囲気。塾っぽさがないことも、「通うのが楽しそうだな」と思わせてくれました。

平岡塾では、中2の10月までに文法を一通り終わらせ、その後はプリントを利用して繰り返し基礎を身につけていきます。読解、文法、英作文などそれぞれ解くのに1〜2時間かかる宿題が課され、次の時間はプリントの音読、答え合わせから始まるので、宿題を確実にこなして授業に臨むのが大前提でした。実際、授業の前日は自宅学習時間の半分以上を平岡塾の課題に費やしたものです。また答え合わせも、

東京大学 理科三類 1年生

福島孝洋さん

「文法に力を入れていて塾」として親に勧められたのが平岡塾。中学3年の春期講習を受講したことをきっかけに通うようになり

本語の語彙力がやや不足していた私には、特にいい勉強になりました。

また、作品の書かれた時代背景や思想などに言及した解説もおもしろかったですね。平岡塾の先生方は幅広い経験をお持ちの方ばかりですから、海外での体験談や言葉の細かいニュアンスの違いの説明に「そうそう」と共感すること。英語だけでなく文化・思想なども含めた学びができるのが平岡塾の魅力だと思います。

——受験期の思い出はありますか。

福島 私は英作文がやや苦手だったんですが、高3で教わった大滝先生から「英作文は文法の基礎をおろそかにしていると絶対に伸びない」と諭されました。そして、中2、3生用のプリントなど、文法の基礎を確認できるような教材を用意してくださったのです。おかげで英作文の力が安定。改めて基礎の大切さを実感しましたね。

——生徒同士も仲がいいそうですね。

福島 はい。授業中はみんな真剣ですが、休み時間になるとそれぞれの学校の話などで盛り上がります。受験の後には、クラスの人などで遊びに行きましたよ。平岡塾にずっと通い続けられた理由の一つに、仲間との交流の楽しさがあったと思います。

医学や医療の現場に触れ、医師への思いを新たに

——医学部をめざしたのはいつ頃で



寺子屋スタイルの授業風景。
生徒たちは自由な雰囲気の中で学ぶ楽しさを知り、「自ら学ぶ」意識を高めていく。

物など基礎となる科目の授業が中心ですが、週1回「医学に接する」という授業があります。脳科学研究に携わっている先生、病院で臨床を担当されている先生などによるオムニバス講義で、医学の世界・医療の現場に接する貴重な経験をさせてもらっています。

授業を通して「医師とは」「医療とは」など考えさせられることが多く、医師になるという決意も一層強まりました。

——医学を学ぶうえで、英語力の必要性を感じることはありますか。

福島 今後専門科目が増えるにつれ、英語による授業や、英語の文献を読む、英語で論文を書くといった機会が増えてくると思います。知識をいち早く取り入れるために、インターネットで英語の情報にアクセスすることも増えるでしょうし、英語力は必ず必要になると思いますね。平岡塾でハイレベルな英語と、大量の英語に対する耐性がついたことは、私の大きな武器。今は英語力を落とさないよう、E S Sで英語に触れる機会を持つようになっています。

——将来、どんな医師になりたいと思っていますか。

福島 まだ具体的にはなっ

正解を確認して終わりではなく、間違っていた場合は「何が間違っているのか」を丁寧に解説。自分の答えと見比べながら学ぶことで、理解が深まりました。

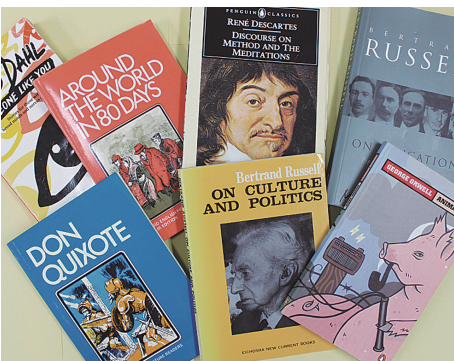
一生使える「教養としての英語」を学ぶ

——平岡塾の教育の特徴を教えてください。

福島 大学受験を意識した英語というよりも、生涯役に立つ「教養としての英語」を教わったと思います。使われる教材もデカルトの『方法序説』やラッセルの『文化・政治論』など古典的な名著。辞書で単語の意味を調べて訳してもしっくりこないことが多く、内容を把握するには英語力だけでなく国語力も要求されます。帰国子女で日



生徒と先生の距離が近く、講師室には生徒たちが気軽に質問に訪れている。



平岡塾で使用している教材。
ラッセル、オーウェルなど、古典的名著の名文が中心だ。

ていませんが、患者さんに信頼されるような医師になりたいですね。そのためには、医師としての専門性はもちろん、人間としても魅力ある人間にならなければと思っています。たくさん本を読み、多くの人と話し、体験できることにはどんどんチャレンジし……人間としての幅を広げていきたいですね。

——最後に、中高生へのアドバイスをお願いします。

福島 私の場合は高3の夏に進路変更しましたが、それからでも医学部に現役合格できました。皆さんも進路を絞りすぎず、幅広い分野を視野に入れて興味分野を見つけて欲しいと思います。大切なのは、基礎となる学力をしっかりと身につけること。受験のための勉強ではなく、将来の自分に役立つ力を身につけることが、将来を切り開く力になると思います。